



## 母子支援施設の親子クッキングに 女性部活動として参加 戸田市商工会女性部(埼玉県)



親子クッキング「ちちんぷいぷい」での調理の様子

戸田市商工会女性部では、フードバンク事業を通じて、戸田市内にある母子支援施設「むつみ荘」との交流を行っています。

きっかけは、家庭内で余っている賞味期限の切れていない食品を「むつみ荘」へ届けたことでした。

そこから年6回、「むつみ荘」で行われている利用者行事の親子クッキング「ちちんぷいぷい」に参加することになりました。数日前から、季節に応じた数種類の献立を考えて、当日は約60人分の食事をつくりまします。

「むつみ荘」には、さまざま

な課題を抱え、身体的にも精神的にも辛い親子もいます。食事を通して、話のきっかけをつくり、親や他者に話せないことや悩みを話すことができればと始めましたが、回を重ねるうちに、少しずつですが心を開いてくれるお母さんや子どもが現れました。毎回楽しみにしてくれているようで、仕事が終わったら、急いで帰ってきて参加してくれたら、料理しているおいしそうなの匂いに誘われて、待ちきれない子どもたちがドアの外から覗いたり、私たちも疲れを忘れてしまうほど、楽しく料理づくりをしています。



上/左から女性部の新井副部長、横田部長、「むつみ荘」の永塚博之施設長 下/食品を寄付するフードバンク事業

少ない人数で行っているため微力ではありますが、女性部活動のひとつとして、今後継続していきたいと思えます。

商工会女性部はまちに  
元気と安心をお届けしています。

# はちみづ通信



## 介護福祉施設への消耗品寄贈活動や 若手の女子部創設で部員増を実現

かたがみ  
潟上市商工会女性部(秋田県)

潟上市商工会女性部では、地域に複数ある介護福祉施設に対し、部員や会員から集めたレジ袋やタオルなどを毎年100枚程度、介護消耗品として寄贈する活動を20年以上にわたって実施しています。



介護消耗品の寄贈をきっかけに会話も弾む入所者と女性部

さらに2015年からは、アルミ缶・プルタブ回収によって得られた資金で車いすを購入し、施設への寄贈も行っています。施設の入所者からは「毎日使う物なのでとても助かる」女性部の皆さんとお話もできてうれしい」など、多くの喜びの声をいただいています。

この活動を通じて、商工会女性部の認知度が上がり、新たな部員の加入にもつながりました。本事業は、部員の誰もが参画できる活動であり、地域に根差す組織の一員として社会貢献ができることから、女性部への帰属意識も高まり、各種事業への参加率も向上しています。

また、当地域では廃業や高齢化による部員減少を受け、若い世代の加入や育成を目的に若手部員による「女子部」を立ち上げ、若

手が参加しやすい体制を整えました。おもな活動は子育て世代をターゲットにしたクイズ大会など、これまでにない新たな事業に取り組んできました。その結果、新たに3人が部員加入したことをはじめ、ほかの部員たちの参加率も向上し、「女性部」と「女子部」との連携により全体の相乗効果にもつながっています。

既存事業に捉われない新たな発想で、これからも積極的にチャレンジしていきます。



女子部主催のクイズイベントの盛況により、新たな部員が加入

### はちみつ通信ぶらす

女性部の  
皆様へ

全女性連公式ホームページに  
動画や写真を掲載しませんか？

全国に向けて発信したい情報などございましたら  
全女性連事務局まで。✉ [zen-jo@shokokai.or.jp](mailto:zen-jo@shokokai.or.jp)



全女性連公式HPはこちら▶

URL

<http://women.shokokai.or.jp>

